保証書添付　保管用

あかりの
TAKIZUMI
LEDシーリングライト
取扱説明書

お客様へ

この度は、タキズミ照明器具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しく安全にご使用ください。　ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。　保証書はお買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。

品番 GDK80308

【安全上のご注意】必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

🚫	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

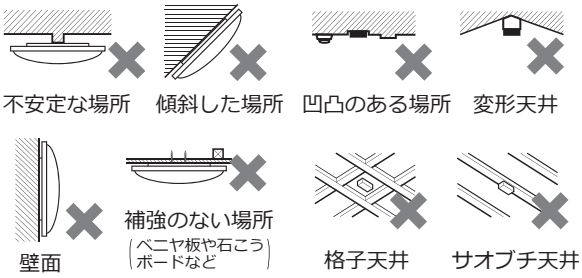
■取付面

●次のような場所には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は水平天井専用です。

禁止



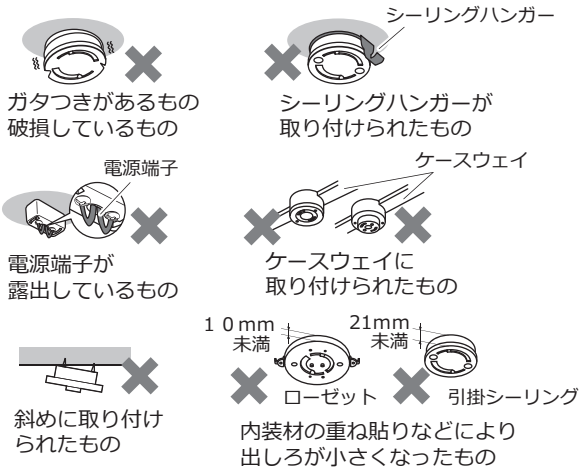
■配線器具

●次のような配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です）

禁止



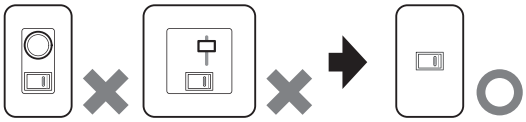
■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切スイッチに交換してください。

正常に点灯しないだけでなく、器具故障の原因や、火災のおそれがあります。

◎調光器の取りはずしが必要です。(工事には資格が必要です)
販売店、工事店に交換を依頼してください。

必ず守る



■その他

●安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)には、単独で使用させないでください。また、製品で子供が遊ばないように注意してください。

器具の破損、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用してください。

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

必ず守る

●異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。

異常状態が収まったことを確認し、お客様相談室にご相談ください。

●アダプタは確実に取り付けてください。

落下してけがのおそれがあります。

●本体は確実に取り付けてください。

破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認してから光源部を取り付けてください。

破損して感電のおそれがあります。

分解禁止

●器具を改造したり、部品を交換しないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意

●照明器具には耐用年限があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
LED光源は光束維持時間に達しても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。(弊社ホームページより書式をダウンロードしてご使用ください)
http://www.takizumi-denki.com/safety/anzen_check_seat_jyuutaku.pdf
◎3年に1回は工事店などの専門家による点検を受けてください。

必ず守る

●この製品は5℃～35℃の範囲内で使用してください。

火災、感電の原因となることがあります。

●取り付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意してください。

転倒、落下してけがをするおそれがあります。

●付属の梱包材は取り除いて使用してください。

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●光源部や本体などが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。

◎破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。

接触禁止

●点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。

やけどの原因となることがあります。
◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてからおこなってください。

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。

火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。

火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

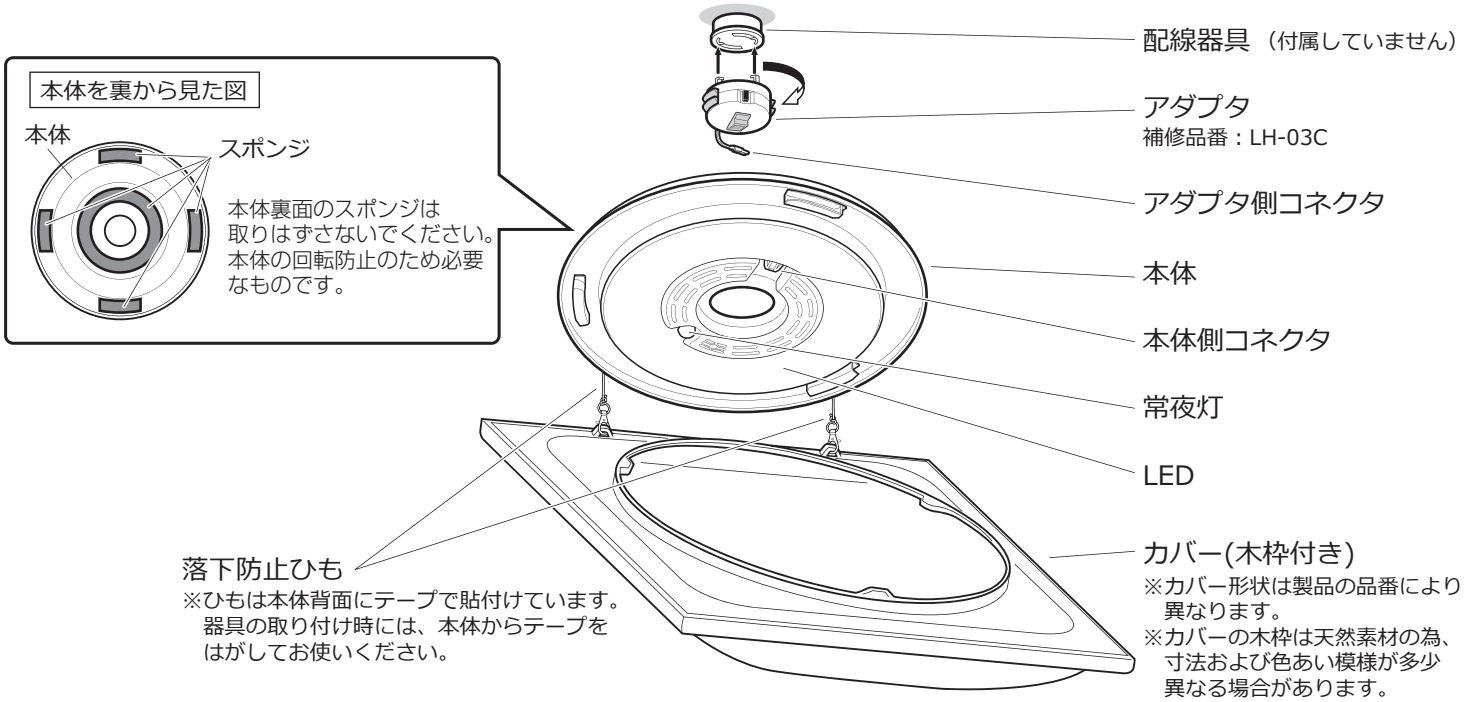
●LEDを直視しないでください。

目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品　取り付ける前にご確認ください

照明器具

部品は破損すると大変危険です。
破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接触れず、販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。

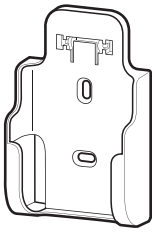


リモコンと付属部品

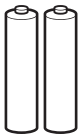
リモコン（補修品番：TLR-104）

※リモコン前面の保護シートを取りはずしてご使用ください

リモコンホルダー



単4形乾電池(2本)



※動作確認用のため電池寿命が短い場合があります

木ネジ(2本)

※リモコンケース取付用

照明器具を取り付ける

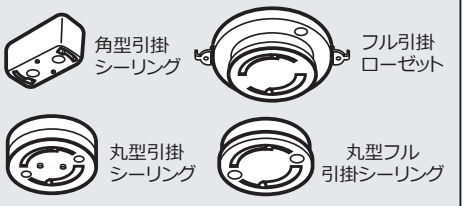
安全のため、必ず電源を切ってからおこなってください

1 天井の配線器具を確認する

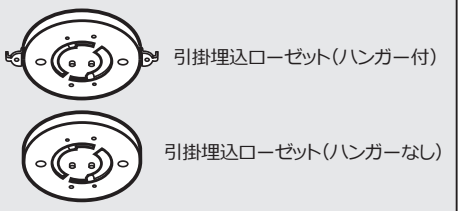
天井に右図のような配線器具が設置されている場合、取り付けできます。
※壁スイッチと併用をおすすめします。

右記以外の配線器具の場合や、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。
◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です）

天井からの出しろが 22mm の配線器具



天井からの出しろが 11mm の配線器具

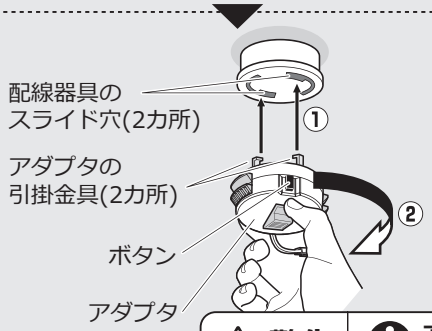


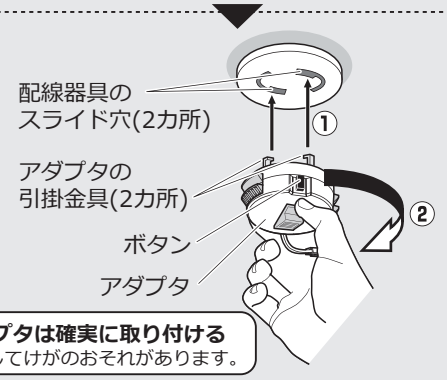
2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①アダプタの引掛金具(2カ所)を配線器具のスライド穴(2カ所)に差込み、

②「カチッ」と音がするまでアダプタを右に回して取り付ける

確認 アダプタ取り付け後、ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する。



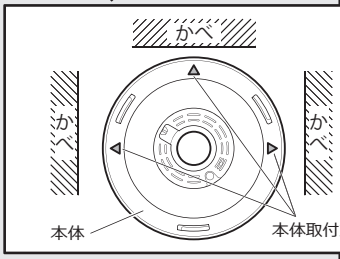


⚠警告 **必ず付属のアダプタを使用する**
付属のアダプタ以外を使用した場合、本体が外れなくなる場合があります。

⚠警告 **アダプタは確実に取り付ける**
落下してけがのおそれがあります。

3 本体を取り付ける

本体の「本体取付方向」を確認し、本体を取付ける方向を決める



「本体取付方向」の矢印の方向と、お部屋の壁の方向とを合わせた状態で本体を取付けると、お部屋に対して四角形のカバーを平行に取付けることができます。

4 本体を取り付ける

配線器具により本体の取付位置が異なります。　右図を参考に本体を押し上げてください。

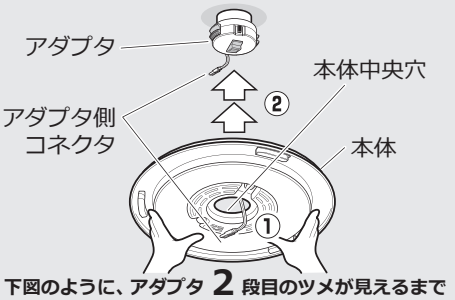
①本体中央穴にアダプタ側コネクタを通し、

②アダプタと本体中央穴の位置を合わせて本体を押し上げる

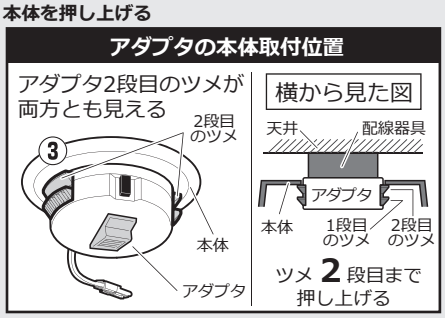
⚠注意
本体を押し上げる際は、穴のまわりを押し上げてください。

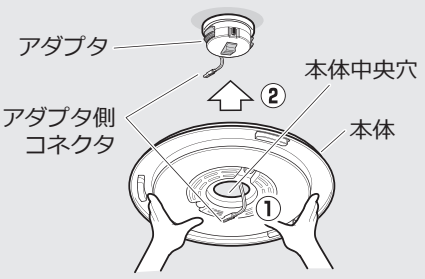
③本体中央穴からアダプタのツメが見えることを確認する

④アダプタのハンドルをロックする

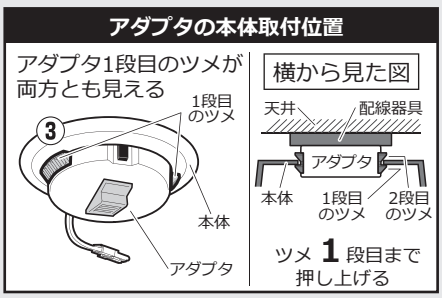


下図のように、アダプタ 2 段目のツメが見えるまで本体を押し上げる



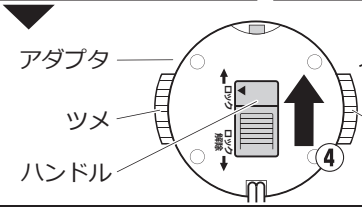


カチッ と 1 度、音がするまで本体を押し上げる。



⚠警告 **本体は確実に取り付ける**
落下してけがのおそれがあります。

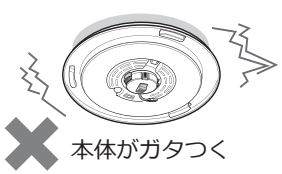
アダプタ正面から見た図

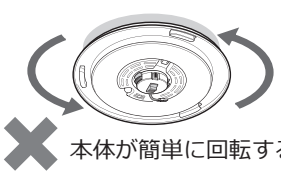


「カチッ」と音がするところまでハンドルをスライドさせてロックする

5 本体が正しく取り付けられているか確認する

確認 本体が簡単に回転する場合は、正しく取り付けされていません。
手順 **4** を再度おこなってください。



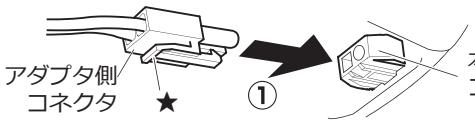


（次ページにつづく）

（前ページのつづき）

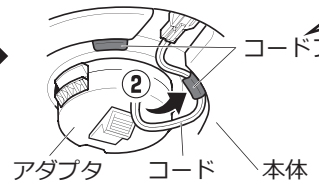
6 コネクタを接続する

①アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込む



確認 ★の部分を押さえずに引っ張り、アダプタ側のコネクタが抜けないことを確認してください。

②アダプタのコードを本体のコードフックに引掛ける



コードをコードフックに引掛ける
※コードが垂れ下がった状態のまま照明器具を点灯すると、コードの影がカバーに映り込むことがあります。

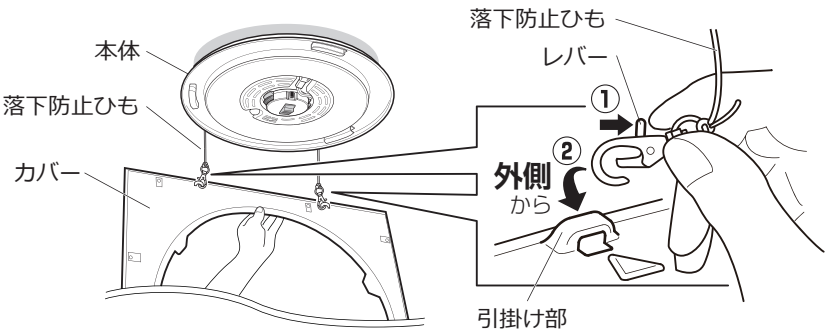
⚠ 警告

コネクタ接続後は本体を無理に回さないでください
器具や配線器具の落下、破損の原因になります

7 落下防止ひもを取り付ける

①落下防止ひものレバーを引いて、

②右図のように落下防止ひもを
カバーの引掛け部に外側から取り付ける(2カ所)
※内側から取り付けられません。



⚠ 警告

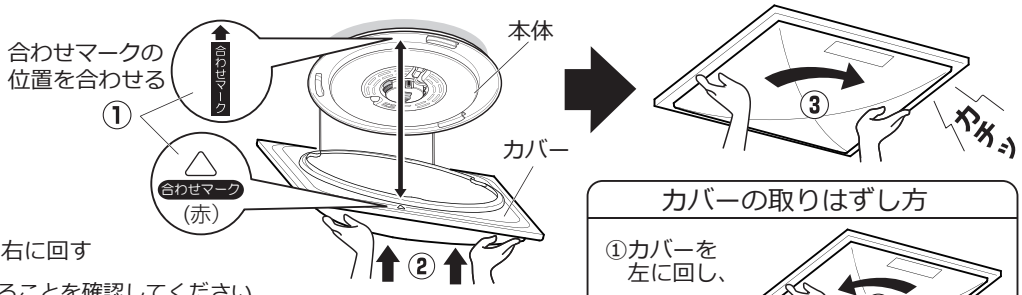
カバーが落ちないようにしっかりと支えてください
落下してけがのおそれがあります
落下防止ひもは必ず取り付けてください
落下してけがのおそれがあります

8 カバーを取り付ける

①カバーの ▲ 合わせマーク と本体の ▲ 合わせマーク の位置を合わせ、

②カバーを持ち上げて本体にはめ、

③「カチッ」と音がするまでカバーを右に回す

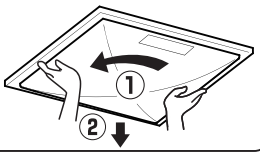


確認 カバーが確実に取付けされていることを確認してください。
カバー取り付け時に本体が簡単に回転する場合は、本体が正しく取り付けされていません。
手順 4 に戻って本体の取り付けを再度行ってください。

カバーの取りはずし方

①カバーを左に回し、

②カバーを取りはずす



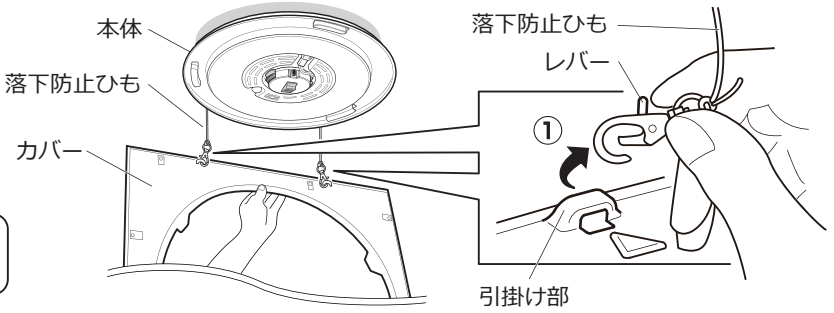
照明器具を取りはずす

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください

1 落下防止ひもをカバーから取りはずす

①落下防止ひものレバーを引いて、
カバーの引掛け部に取り付けられている、
2カ所の落下防止ひもを取りはずし、

②カバーを取りはずす



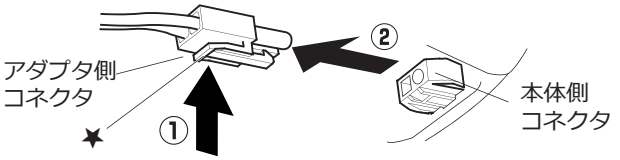
⚠ 警告

カバーが落ちないようにしっかりと支えてください
落下してけがのおそれがあります

2 コネクタをはずす

①コネクタの★の部分を押さえながら

②アダプタ側コネクタを引き抜く

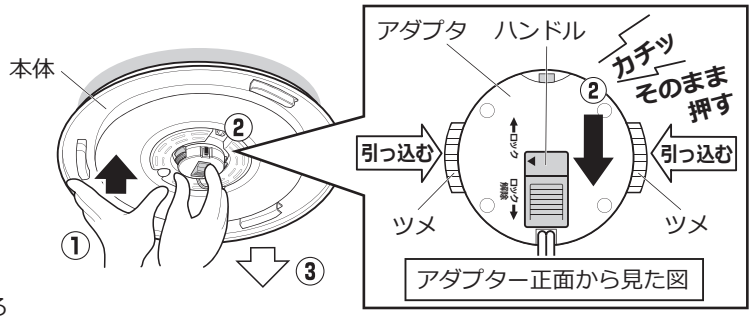


3 本体を取りはずす

①本体が落ちないように
しっかりと支えながら、

②アダプタのハンドルを
「カチッ」と音がなるまで
ロック解除の方向へスライド
させてロックを解除し、そのまま
アダプタのツメが引っ込むまで
ハンドルを押してスライドさせる

③本体をゆっくりと下げて取りはずす



⚠ 警告

本体が落ちないようにしっかりと支えてください
落下してけがのおそれがあります

4 アダプタをはずす

①ボタンを押しながら

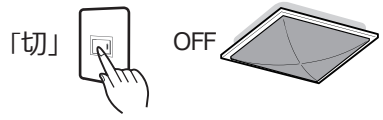
②左に回してアダプタをはずす

壁スイッチで照明器具を操作する

点灯・消灯する

壁スイッチを入れる(ON)と記憶している前回の状態で点灯します。　初期設定は【消灯】の状態を記憶しています。

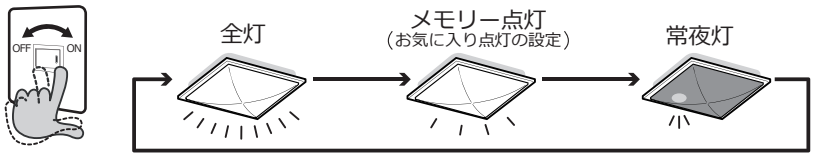
壁スイッチを切る(OFF)と、現在の状態を記憶して消灯します。



- リモコンで「明るさと色あい」を調節した状態で、壁スイッチを使って消灯した場合は現在の状態を記憶しません。そのため次にONした時は最後にメモリー点灯ボタンに記憶した「明るさと色あい」で点灯します。 メモリー点灯機能の使用方法は、6ページ「お気に入り点灯機能の使用方法」を参照。
- 消灯状態で「切」にすると次に「入」にしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約3秒以内に) OFF ⇔ ON を切り替えると下図のように点灯状態が切り替わります。



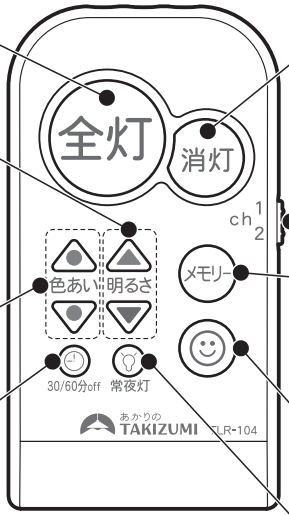
- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用した場合、点灯状態が同時に切り替わらないことがあります。

リモコンで照明器具を操作する

壁スイッチは「入」の状態にしてください

リモコンの説明（品番：TLR-104）

※リモコンなどの付属部品は1年保証です（乾電池を除く）



全灯ボタン

100%の明るさで点灯します。（昼白色）

- 蓄光ボタンが太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

調光ボタン

明るさを調節します。
調光範囲：100%～約20%まで（10段階）

調光ボタン ▲▼ を同時に長押し(6秒以上)で

操作する照明器具のチャンネルが切り替わります。

⇒7ページの「チャンネルの設定方法」を参照

調色ボタン

色あいを調節します。
調色範囲：昼光色6500K～電球色3000K※まで（10段階）

offタイマーボタン

offタイマーをセットすると30分後または60分後に自動消灯します。タイマー設定後、offタイマーボタン以外のボタンを押すと「ピー」とブザー音が鳴り、タイマーは解除されます。必要な場合は、改めてタイマー設定を行ってください。

押すごとに《30分後消灯》⇒《60分後消灯》を繰り返します

設定音	ピピッ 30分後消灯	ピピピッ 60分後消灯	ピピッ 30分後消灯	ピピピッ 60分後消灯

消灯ボタン

消灯します。

- この器具はリモコンで消灯している場合、約１W以下の電力を消費しています。長期間ご使用されない場合、壁スイッチをＯＦＦにしておくことをおすすめします。

チャンネル切替スイッチ

操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。

⇒7ページの「チャンネルの設定方法」を参照

メモリー点灯ボタン

メモリー設定操作をした「明るさ・色あい」で点灯します。
ボタンを長押し(2秒以上)で点灯状態を記憶します。

⇒6ページの「点灯状態を調節し記憶させる」
「記憶した明るさ・色あいをワンタッチで点灯する」を参照

節電ボタン

節電機能を設定する場合に使用します。

⇒6ページの「節電機能の使用方法」を参照

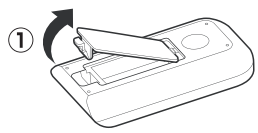
常夜灯ボタン

常夜灯を点灯します。

※ K（ケルビン）とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

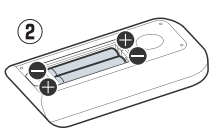
リモコン乾電池の入れ方

①リモコン裏側の電池蓋をはずす



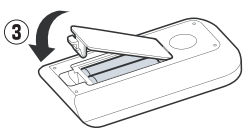
電池蓋のレバーを▲方向に押して引き上げる

②電池の⊕⊖を正しく入れる



電池は⊖側接点をリモコンのバネに正しく押し当てながら装填する

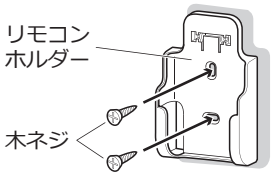
③電池蓋を取り付ける



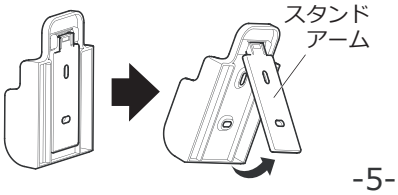
- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- リモコンに付属の電池は動作確認用のため電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池を入れる時、電池に傷をつけたり、カバーを破らないようにしてください。発熱、破裂、発煙、発火のおそれがあります。
- 電池交換時は２本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
- 長期間使わない時は電池を取り出してください。　(液漏れによる故障防止)

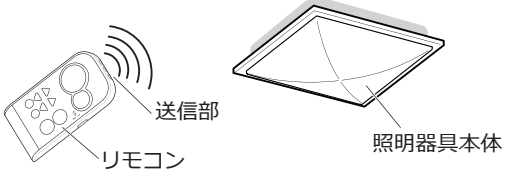
リモコンホルダーの取り付け方

【壁などに取付ける場合】



【テーブルなどに置いて使用する場合】





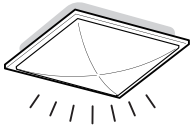
確認　リモコンを操作する場合は、リモコンホルダーから取り出し、照明器具本体に送信部を向けて操作してください。

お気に入り点灯機能を使用する　壁スイッチは「入」の状態にしてください

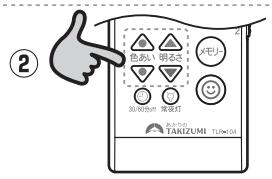
点灯状態を調節し記憶させる

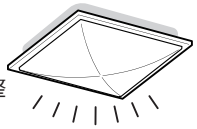
リモコンのメモリー点灯ボタンで、お好みのあかりを記憶することができます

①リモコンの「全灯ボタン」を押して点灯させる



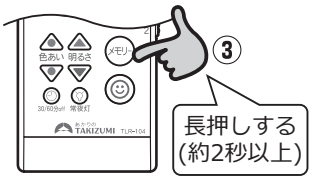
②リモコンの「調光ボタン」「調色ボタン」を押して、おこのみの明るさと色あいに調節する

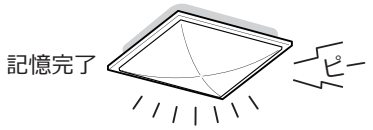




③リモコンの「メモリーボタン」を長押し(約2秒以上)して明るさと色あいを記憶する

●再び上記の操作を行うまでは、
記憶した明るさ・色あいを保持します。





「ピー」とブザーが鳴り明るさ･色あいを記憶

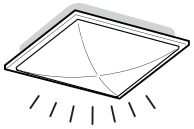
記憶した明るさ･色あいをワンタッチで点灯する

記憶した明るさ･色あいをワンタッチで点灯することができ、
「お気に入りの点灯状態」としてご利用できます

リモコンの「メモリーボタン」を押して点灯させる

●常夜灯はメモリー点灯ボタンで記憶できません。

記憶した明るさ・色あいで点灯

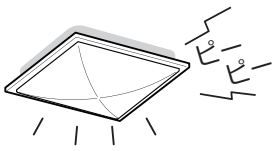


節電機能を使用する　壁スイッチは「入」の状態にしてください

節電機能とは　明るさを約20%ダウンして節電点灯します。※調光した状態からの操作では約20%ダウンにならない状態があります。

節電機能を実行する

リモコンの「節電ボタン ☺ 」を押すと、照明器具本体から「ピーピー」と設定音が鳴り節電機能を開始します。
直前の照明器具の点灯状態により節電機能の動作が異なります。下の一覧を参考にしてください。



節電モードで点灯

照明器具の点灯状態	節電機能開始後の点灯動作
全灯状態	全灯の明るさから約20%ダウン
消灯状態※	
常夜灯 点灯状態	
明るさや色あいを調光した状態	調光・調色状態から2段階の明るさ調整 ※調光状態の下から1段目/2段目はこの操作はできません

※消灯状態は、リモコンを使って消灯した状態をいいます。壁スイッチを使って消灯した場合は動作しません。

節電機能を解除する

リモコンの操作ボタンを押すと、照明器具本体から「ピー」と設定音が鳴り、節電機能を解除します。

チャンネル設定

2台までのリモコン照明器具を操作する（照明器具のチャンネルを変更できます）

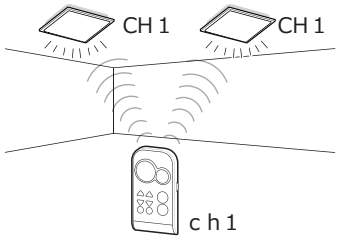
チャンネル設定でできること

本製品はチャンネル1・2の設定ができます。
照明器具とリモコンのチャンネルを設定し切り替えることで、複数台のリモコン照明器具を操作できます。

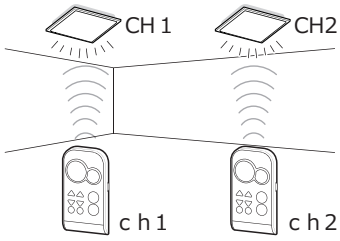
※リモコンで操作できない時は、リモコンと照明器具本体とのチャンネル設定が合っていない可能性があります。

⇒7ページ 「チャンネルの設定方法」を参照

【使用例1】
2台のリモコン照明器具(タキズミ製)を1つのリモコンで同時に操作

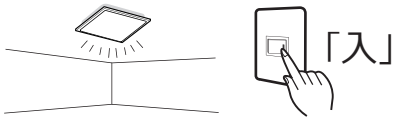
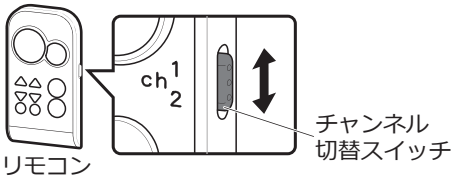
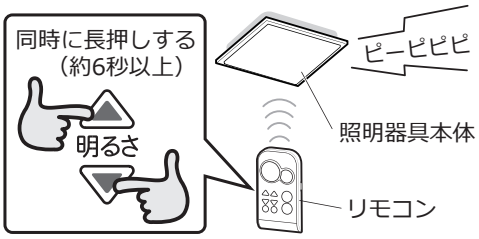
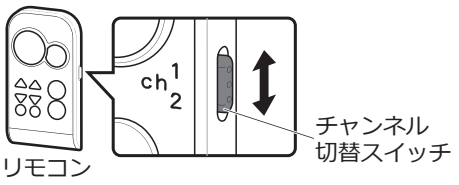


【使用例2】
2台のリモコン照明器具(タキズミ製)を別々に操作



チャンネルの設定方法

●チャンネルの初期設定は照明器具本体、リモコン共にch1に設定されています。

	照明器具本体を ch2 に設定する場合	照明器具本体を ch1 に設定する場合
	①チャンネル設定 **ch2** に設定したい器具のみを壁スイッチONにする	①チャンネル設定 **ch1** に設定したい器具のみを壁スイッチONにする
	②リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置にスライドする	②リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置にスライドする
	③照明器具本体にリモコンを向けながら「調光ボタン ▲▼ 」を約6秒以上同時に長押しする （「ピーピピピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch1→ch2** へ切り替わります。）	③照明器具本体にリモコンを向けながら「調光ボタン ▲▼ 」を約6秒以上同時に長押しする （「ピーピピピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch2→ch1** へ切り替わります。）
	④リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置に切り替えて使用してください （※照明器具本体のチャンネル設定がch2に切り替わっているため、リモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。）	④リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置に切り替えて使用してください （※照明器具本体のチャンネル設定がch1に切り替わっているため、リモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。）

複数台の照明器具を使用時、チャンネル設定を切り替えようとする照明器具本体以外が反応して、同時に設定されてしまう場合は、
壁スイッチをOFFにし対象の照明器具以外のコネクタをはずし、対象の照明器具のみの電源が入るようにしてからチャンネル設定をしてください。

リモコンは、他のタキズミ製リモコン付照明器具に対しても操作できますが、チャンネル設定の方法は商品に付属している取扱説明書をご参照ください。
また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

ご使用上に関するお知らせ

【ご使用上の注意点】

- ●点灯中や消灯後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- ●天井の材質や構造によっては、器具取付天井面が変色する場合があります。
- ●木や和紙など素材を使った商品は天然素材の特性上、同一品番でも商品ごとに寸法および色合い模様が多少異なる場合があります。
- ●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- ●壁スイッチがないと、リモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
- ●壁スイッチがＯＮの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- ●LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- ●LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- ●3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- ●3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- ●点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
- ●照明器具が点灯しない場合は、電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

【周囲の影響】

- ●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
- ●器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	点検事項
点灯しない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにしてください　⇒ 5ページ・・・
	器具のコネクタが確実に差込まれていない	器具のコネクタを確実に接続してください　⇒ 4ページ・・・
リモコンで操作できない	リモコンと器具のチャンネルが合っていない	リモコンと器具のチャンネルを合わせてください　⇒ 7ページ・・・
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れてください　⇒ 5ページ・・・
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換してください　⇒ 5ページ・・・
勝手に消灯する	offタイマー30分／60分がセットされている	offタイマー30分／60分を解除してください　⇒ 5ページ・・・
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	壁スイッチをOFFにしてください　⇒ 5ページ・・・ リモコンまたは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替えてください　⇒ 5ページ・・・

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

お手入れについて

電源を切って、本体やその周辺が冷めてからおこなってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に１回程度)に下記の手順で清掃してください。

本体	汚れは、やわらかい布を石けん水に浸し、よく絞ってから軽く拭き取る。必ず最後にやわらかい布で乾拭きをする。（水洗いはできません）
カバー（プラスチック）	汚れは、やわらかい布を石けん水に浸し、よく絞ってから軽く拭き取る。必ず最後にやわらかい布で乾拭きをする。
カバー（木、和紙など）	ハタキ・ハケ・やわらかいブラシ等でこまめにホコリを払い落とす。（水洗いはできません）

●リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は２本とも新しい同じ種類のものを使用してください。長期間使わないときは電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)
●使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
●リモコンの送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。

リモコン送信部

確認　シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

仕様

使用電圧	周 波 数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz共用	全灯：28.9W　常夜灯：1.3W　待機時：1.00W以下	0.29A

●LED照明器具の光束維持時間は、約40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
光束維持時間は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を指定したものです。

タキズミ照明器具保証書　**※お客様へ　保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。**

<保証について>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
3. 二次販売、ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 保証期間は製品お買い上げ日から５年間です。(本体、LED器具の点灯装置）但し、付属部品は１年間です。
お買上げ日より5年以内に故障が発生した場合は、保証規定の範囲で無料修理させていただきます。
※24時間連続使用など、１日20時間以上の長時間の使用の場合は、上記の半分の期間とします。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障および損傷
(3)ご使用による器具のキズ、汚れ、および自然劣化
(4)各部材の経時変化による外観の劣化やそれに伴う照明機能低下
(5)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
(6)一般家庭用以外（例えば業務用等や車両、船舶等に搭載）に使用された場合の故障および損傷
(7)施工上の不備に起因する故障や不具合
(8)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わない事による故障および損傷
(9)本書および領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合
(10)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合

<アフターサービスについて>

1. 保証期間中に万一故障が起きた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店までお申し出ください。
2. 保証期間終了後は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。修理によって機能が維持できる場合、ご希望により有料修理させていただきます。
3. アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後最低6年間保有しています。(※セードなどの電気部品以外の部品は含まない）補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な点はお買い上げの販売店または、「お客様相談室」までご相談ください。

Sample
【見本】

品番	GDK80308	保証期間（お買い上げ日から）	本体、光源部、LED器具の点灯装置：5年間 付属部品など：1年間	お買い上げ日	年　月　日
お客様	お名前 ご住所　〒　－ 電話番号　（　）　－		販売店名・住所・電話番号		

●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

ご不明な点などは下記までご連絡ください。

瀧住電機工業株式会社
〒546-0035 大阪市東住吉区山坂2-21-16
「お客様相談室」フリーダイヤル 0120-226-544
受付時間/月～金(土、日、祝日、夏季、年末年始休業日を除く)　9:00～17:00
http://www.takizumi-denki.com/